令和４年度 学校関係者評価委員会報告書

本校において、学校関係者評価委員会を開催し、令和４年度学校自己点検・自己評価結果に基づいて、学校関係者による学校評価を行ったので報告します。

学校名　　：大分臨床工学技士専門学校　臨床工学技士学科
実施日　　：令和５年７月５日（水）
学校関係者評価委員：関係企業委員　１名　職能団体等有識者委員　１名

議事報告

評価・項目	評価・意見など
（１）教育理念・目標	「教育理念」や「教育計画」は自己点検報告の適切であるについて、妥当であると評価された。
（２）学校運営	「運営方針に沿った事業」、「情報公開」、「教務や財務の組織整備」について、妥当であると評価された。今後の課題として、多くの学生に臨床工学技士を目指してもらえるよう広報活動等に力を入れていくことで一致した。
（３）教育活動	教育活動全般において適切に行われており、妥当であると評価された。今後も、教員の最新の臨床工学に関する知識習得のため、勉強会等への参加を促すことで一致した。また、令和５年度に新カリキュラムに移行するにあたって、１年次から臨床工学技士の実務についての講義内容を充実させ、職業意識の向上につながる講義スケジュールを設計し、令和４年度から開始した旨同意いただいた。
（４）学修成果	「就職率の向上」、「退学者数の軽減」については、ほぼ適切であると評価された。「資格取得に向けた取組」については、臨床工学技士国家試験の本校合格率は全国平均を上回った。そのため「適切」という評価について妥当であると評価された。今後も、昨年度から取り入れた成績不良者に対する個別指導を行い、国家試験全員合格を目標に努力することで一致した。
（５）学生支援	妥当であると評価された。退学者数減少のため、保護者家族と連携した指導を行うと共に、放課後等を利用した勉強会等の実施し、基礎的な学力向上を図ることで一致した。
（６）教育環境	「施設・設備の整備」や「防災対策の整備」については適切であると評価された。昨年 11 月に新校舎竣工し充実した環境が整備されたと評価された
（７）学生の受入れ募集	ほぼ妥当であると評価された。近年入学者の減少傾向がみられているが、令和５年度の入学試験受験者は増加している。今後も大分県臨床工学技士会と協力し合いながら臨床工学技士の啓蒙活動にも取り組んでいくことで了承いただいた。
（８）財務	特に問題なし。
（９）法令などの遵守	特に問題はなく妥当であると評価された。